

救急蘇生統計

(令和 7 年)

令和 8 年 4 月

松江市消防本部

1 集計期間・集計対象

令和7年1月1日から12月31日までに松江市消防本部管内で発生した心肺機能停止症例（ウツタイン様式オンライン（病院外心肺機能停止患者記録）入力要領に基づく傷病者）を本集計の対象とした。その要件については以下の通り。

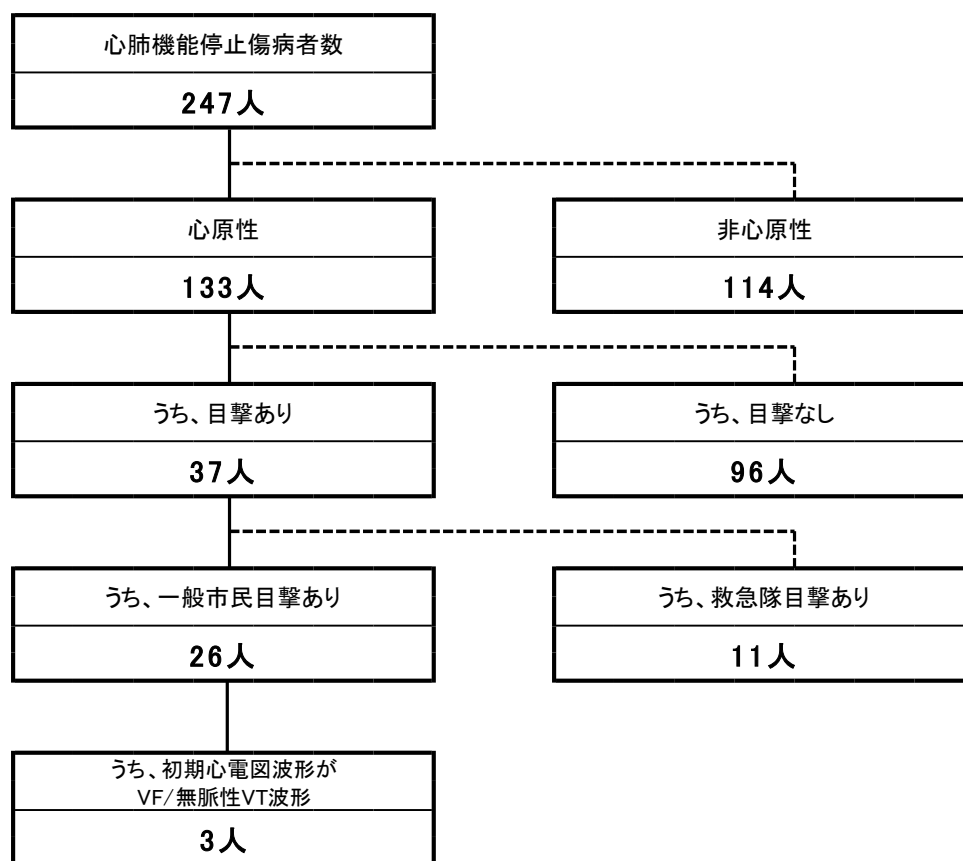
- (1) 救急隊が現場で傷病者を確認した時点において、心肺機能停止であった事例。
- (2) 救急搬送途上において、心肺機能停止に陥った事例。
- (3) 一時的に心肺機能停止であったと推測されるが、救急隊到着時には心拍及び呼吸若しくは心拍又は呼吸のいずれかが再開していた事例。
- (4) 医療機関での心肺機能停止傷病者で、医師による一次救命処置のみ実施された事例。

※集計対象外

- ・ 何らかの理由により心肺蘇生を行わず搬送した場合。※上記(3)を除く。
- ・ 転院搬送等で救急隊が心肺蘇生を行わず、医師、看護師等が心肺蘇生を行った場合。
- ・ 医療機関での心肺機能停止傷病者で、医師による二次救命処置（一次救命処置に加え、高度な気道確保（気管挿管など）や静脈路などの確保と薬剤投与等の処置をいう。）がすでに行われている場合。

2 ウツタインの統計系統図

令和7年中に搬送された心肺機能停止傷病者は247人で、心原性の傷病者数は133人、非心原性の傷病者数は114人であった。



3 概要

令和7年中の心肺機能停止傷病者247人のうち病院前心拍再開は41人(16.6%)であった。(内訳：1ヵ月生存13人(5.3%)、社会復帰8人(3.2%))

また、心肺機能停止傷病者247人のうち1ヵ月生存は14人(5.7%)で社会復帰は8人(3.2%)であった。

(1) 性別と年齢区分

心肺機能停止傷病者247人のうち、男性は131人(53.0%)、女性は116人(47.0%)であった(図1・2参照)。年齢区分では、80～89歳が最も多かった。(表1参照)

図1 傷病者の性別

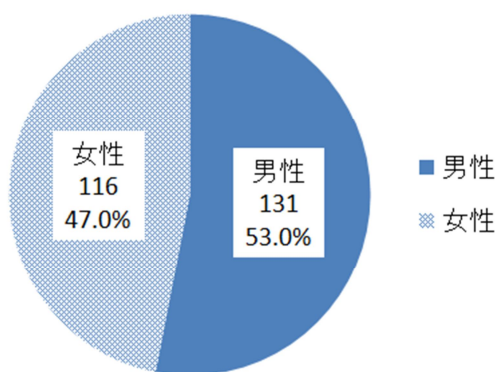


図2 傷病者の性別(10ヵ年推移)

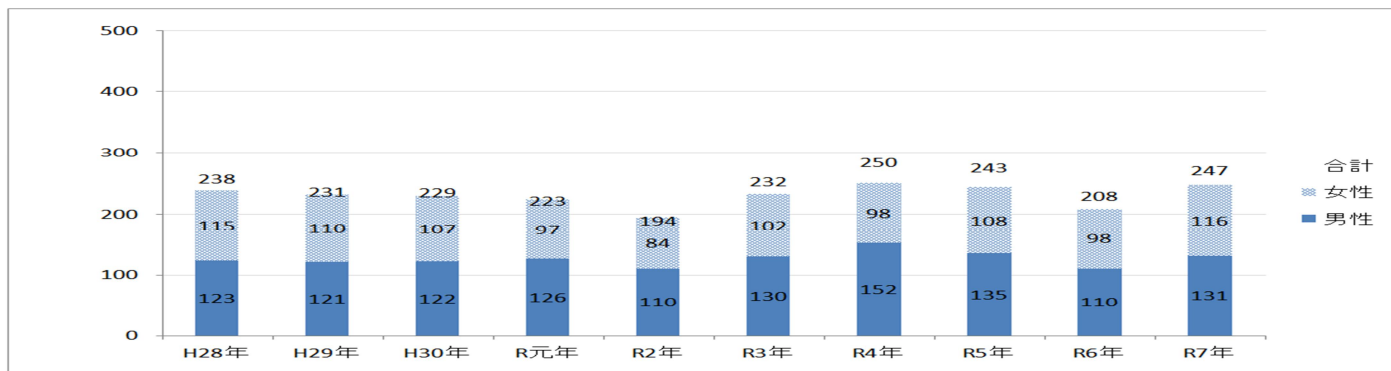


表1 傷病者の年齢区分(10ヵ年推移)

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	合計
年齢区分	0～9	2	1	3	0	2	0	0	2	3	1	14
	10～19	0	0	1	3	0	1	1	2	2	0	10
	20～29	5	3	4	3	3	2	1	4	1	2	28
	30～39	6	0	4	5	6	5	2	4	3	6	41
	40～49	4	10	3	5	6	6	10	7	4	6	61
	50～59	11	13	10	6	11	9	13	22	16	13	124
	60～69	33	33	23	29	15	23	20	24	17	24	241
	70～79	40	43	48	42	44	46	64	49	39	47	462
	80～89	88	77	80	72	64	79	81	74	66	88	769
	90～99	46	48	49	54	39	58	55	51	55	58	513
100～119	3	3	4	4	4	3	3	4	2	2	32	
不詳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	238	231	229	223	194	232	250	243	208	247	2,295	

(2) 事故発生場所

心肺機能停止傷病者について事故発生場所別にみると、住宅が147人(59.5%)と最も多く、なかでも居室・寝室での発生が多かった(全体の40.5%)。公衆出入場所は79人(32.0%)であり、なかでも老人ホームでの発生が多かった(全体の24.7%)。(図3・表2参照)

図3 心肺機能停止傷病者の発生場所

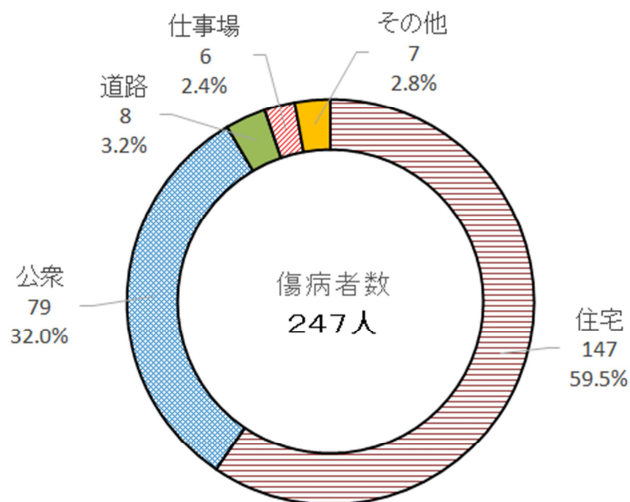


表2 心肺機能停止傷病者の発生場所
(住宅・公衆出入場所・道路)

		傷病者数	構成比
住宅	居室・寝室	100	40.5%
	浴室	18	7.3%
	廊下・玄関	16	6.5%
	便所	6	2.4%
	台所・食堂	3	1.2%
	その他(庭・テラス等)	4	1.6%
	計	147	59.5%
公衆出入場所	老人ホーム	61	24.7%
	病院・診療所	2	0.8%
	旅館・ホテル等	4	1.6%
	飲食店等	1	0.4%
	マーケット等	5	2.0%
	その他(駐車場・車庫等)	6	2.4%
	計	79	32.0%
道路	一般道路等	7	2.8%
	高速自動車国道	0	0.0%
	自動車専用道路	1	0.4%
	その他(交差点・横断歩道等)	0	0.0%
	計	8	3.2%

(3) 一般市民による応急手当の実施

心原性で一般市民により目撃された傷病者は26人であり、そのうち一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者は19人であった。(図4参照)

また、一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者は3人であった。(図5参照)

図4 心原性で一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者数
(10カ年推移)

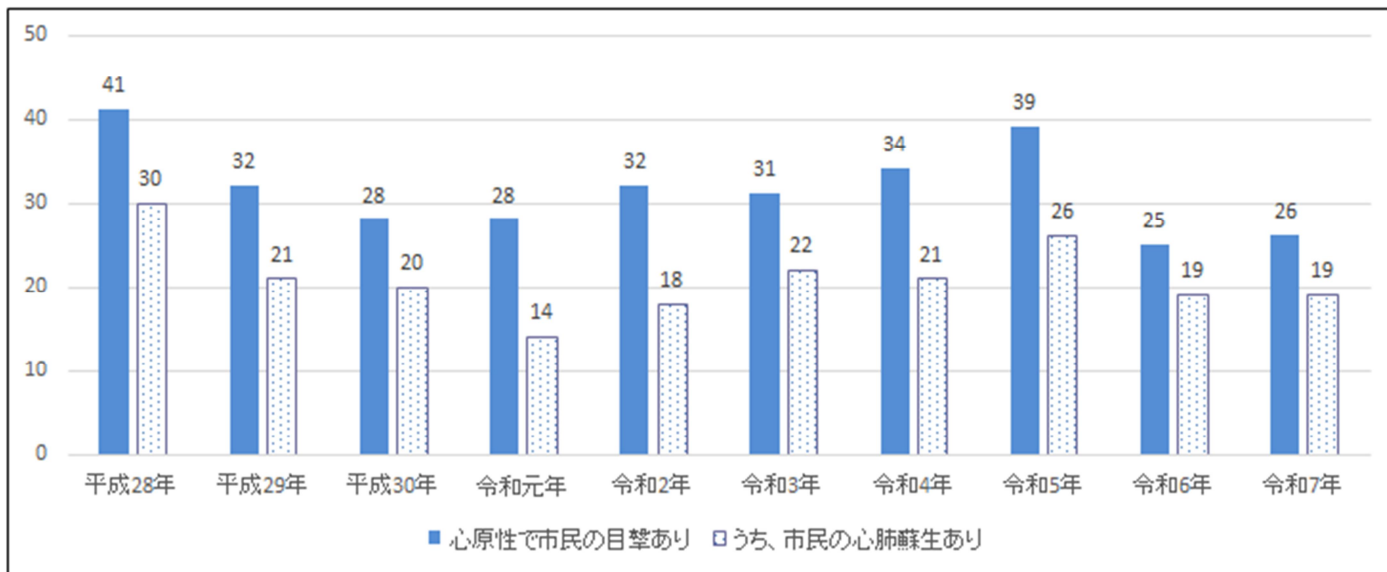
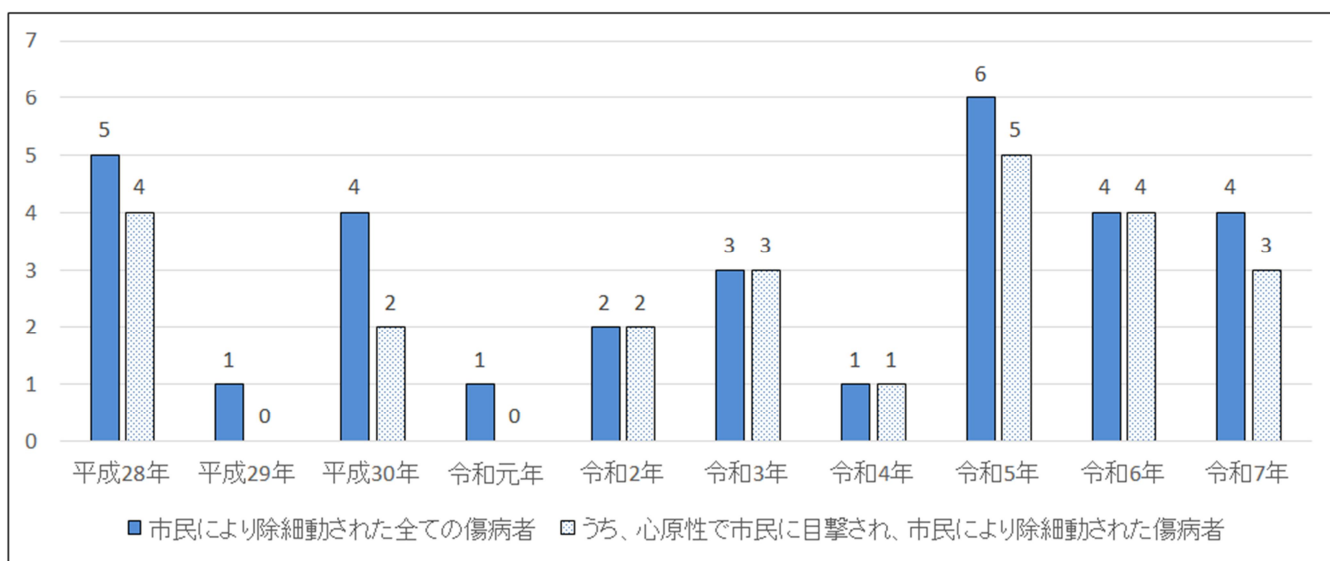


図5 心原性で一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者数
(10カ年推移)



4 心原性の傷病者に関する分析

以下、心原性の傷病者について分析する。

(1) 目撃された傷病者の生存率

心原性で一般市民により目撃された傷病者は26人であった。そのうち1ヵ月生存者は7人であり、5人が社会復帰した(図6参照)。10ヵ年集計については、図7のとおり。10ヵ年推移については、表3のとおり。

一般市民により目撃された傷病者の性別・年齢区分の10ヵ年集計については、表4のとおり。

図6 目撃された傷病者の生存率(令和7年)

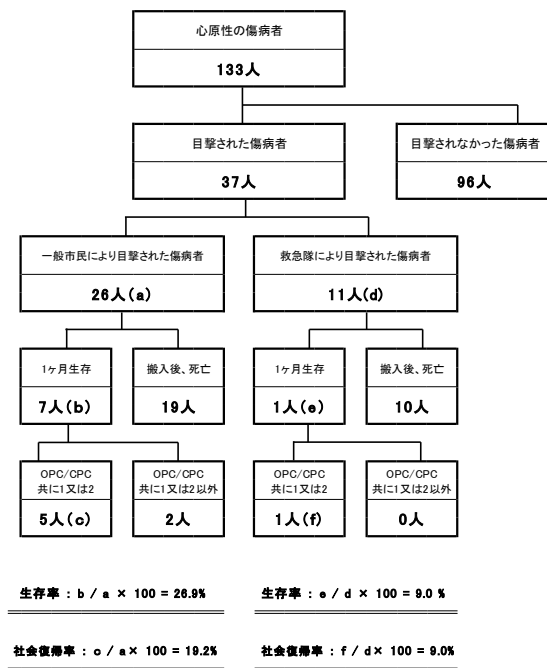


図7 目撃された傷病者の生存率(10ヵ年集計)

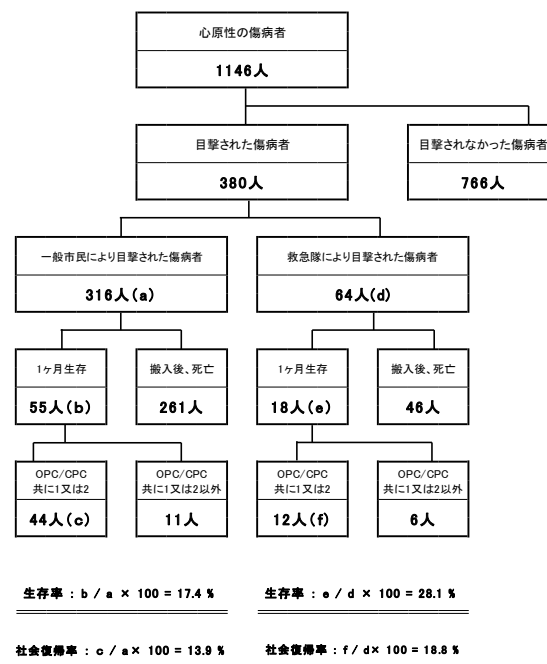


表3 目撃された傷病者の生存率（10カ年推移）

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心原性の傷病者		122	123	103	127	102	108	120	112	96	133
目撃された傷病者		50	39	36	35	35	36	38	40	34	37
	一般市民により目撃された傷病者	41	32	28	28	32	31	34	39	25	26
	1か月生存	9	8	4	3	5	4	2	9	4	7
	生存率	22.0%	25.0%	14.3%	10.7%	10.7%	12.9%	5.9%	23.1%	16.0%	26.9%
	OPC/CPC共に1又は2	6	7	3	3	5	2	2	8	3	5
	社会復帰率	14.6%	21.9%	10.7%	10.7%	15.6%	6.5%	5.9%	20.5%	12.0%	19.2%
	救急隊により目撃された傷病者	9	7	8	7	3	5	4	1	9	11
	1か月生存	2	4	1	3	1	1	2	0	3	1
	生存率	22.2%	57.1%	12.5%	42.9%	33.3%	20.0%	50.0%	0.0%	33.3%	9.1%
	OPC/CPC共に1又は2	1	3	1	1	1	1	1	0	2	1
	社会復帰率	11.1%	42.9%	12.5%	14.3%	33.3%	20.0%	25.0%	0.0%	22.2%	9.1%
目撃されなかった傷病者		72	84	67	92	67	72	82	72	62	96

表4 一般市民により目撃された傷病者の性別・年齢区分別生存率(10カ年集計)

		10カ年集計											
		総数	心原性で一般市民により目撃された傷病者										
			男性					女性					
			人数	1か月生存		社会復帰		人数	1か月生存		社会復帰		
生存率	社会復帰率	生存率		社会復帰率									
年齢区分	0～9	14	2	1	1	100.0%	1	100.0%	1	0	0.0%	0	0.0%
	10～19	10	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%
	20～29	28	4	3	1	33.3%	1	33.3%	1	0	0.0%	0	0.0%
	30～39	41	2	2	2	100.0%	2	100.0%	0	0	0.0%	0	0.0%
	40～49	61	11	8	4	50.0%	4	50.0%	3	2	66.7%	2	66.7%
	50～59	124	23	20	8	40.0%	8	40.0%	3	2	66.7%	2	66.7%
	60～69	241	52	41	13	31.7%	10	24.4%	11	3	27.3%	2	18.2%
	70～79	462	58	45	6	13.3%	4	8.9%	13	0	0.0%	0	0.0%
	80～89	769	91	56	7	12.5%	5	8.9%	35	3	8.6%	2	5.7%
	90～99	513	67	22	1	4.5%	0	0.0%	45	2	4.4%	1	2.2%
100～119	32	6	0	0	0.0%	0	0.0%	6	0	0.0%	0	0.0%	
不詳	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	
合計	2295	316	198	43	21.7%	35	17.7%	118	12	10.2%	9	7.6%	

(2) 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率

心原性で一般市民により目撃された傷病者 26 人のうち、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者は 19 人であった。そのうち 1 ヶ月生存者は 7 人であり、5 人が社会復帰した。(図 8 参照) 10 ヶ年集計については、図 9 のとおり。10 ヶ年推移については、表 5 のとおり。

図 8 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率 (令和 7 年)

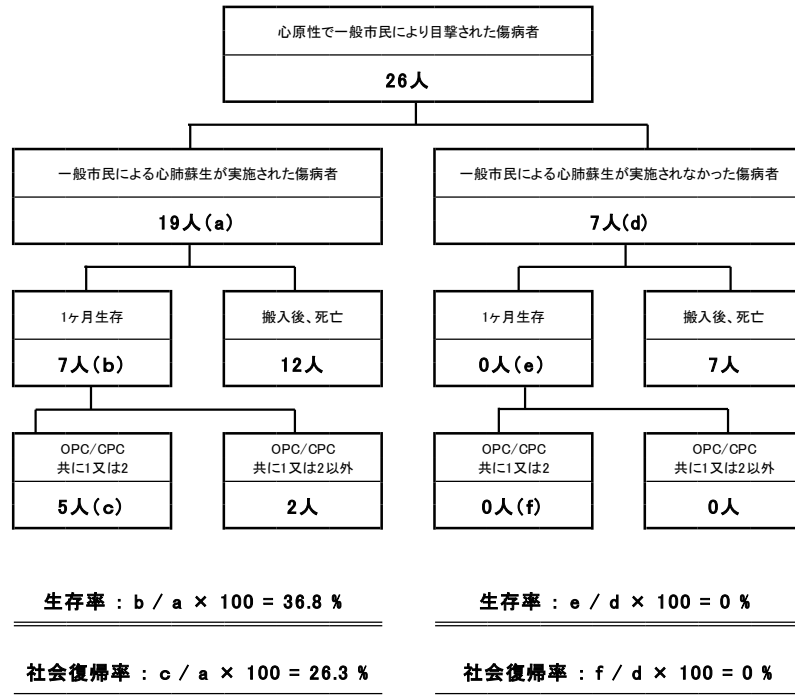


図 9 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率 (10 ヶ年集計)

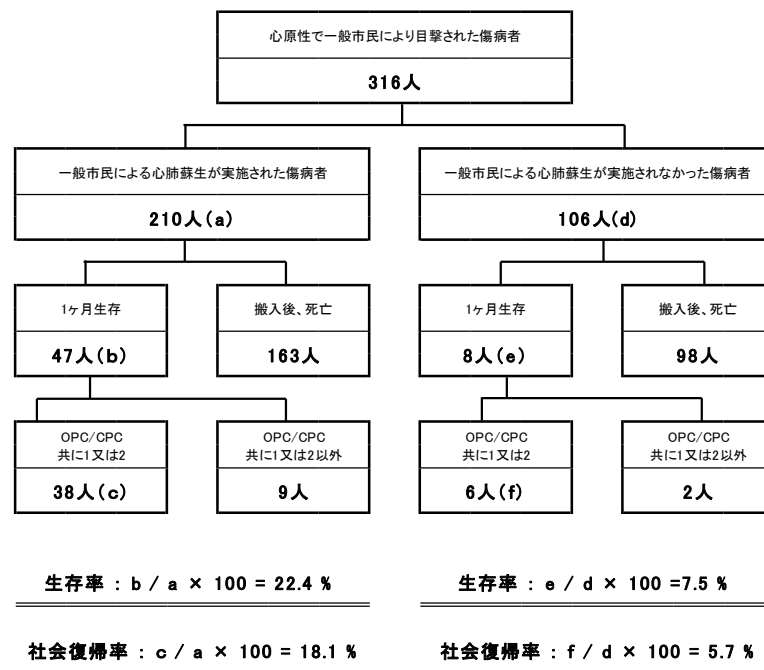


表5 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率（10カ年推移）

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心原性で一般市民により目撃された傷病者		41	32	28	28	32	31	34	39	25	26
一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者		30	21	20	14	18	22	21	26	19	19
	1か月生存	8	6	2	3	3	3	2	9	4	7
	生存率	26.7%	28.6%	10.0%	21.4%	16.7%	13.6%	9.5%	34.6%	21.1%	36.8%
	OPC/CPC共に1又は2	5	5	2	3	3	2	2	8	3	5
	社会復帰率	16.7%	23.8%	10.0%	21.4%	16.7%	9.1%	9.5%	30.8%	15.8%	26.3%
一般市民による心肺蘇生が実施されなかった傷病者		11	11	8	14	14	9	13	13	6	7
	1か月生存	1	2	2	0	2	1	0	0	0	0
	生存率	9.1%	18.2%	25.0%	0.0%	14.3%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	OPC/CPC共に1又は2	1	2	1	0	2	0	0	0	0	0
	社会復帰率	9.1%	18.2%	12.5%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(3) 一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者の生存率

心原性で一般市民による除細動が実施された傷病者は3人であった。そのうち1ヵ月生存者は2人であり、2人が社会復帰した。(図10参照)。10ヵ年集計については、図11のとおり。10ヵ年推移については、表6のとおり。

図10 一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者の生存率 (令和7年)

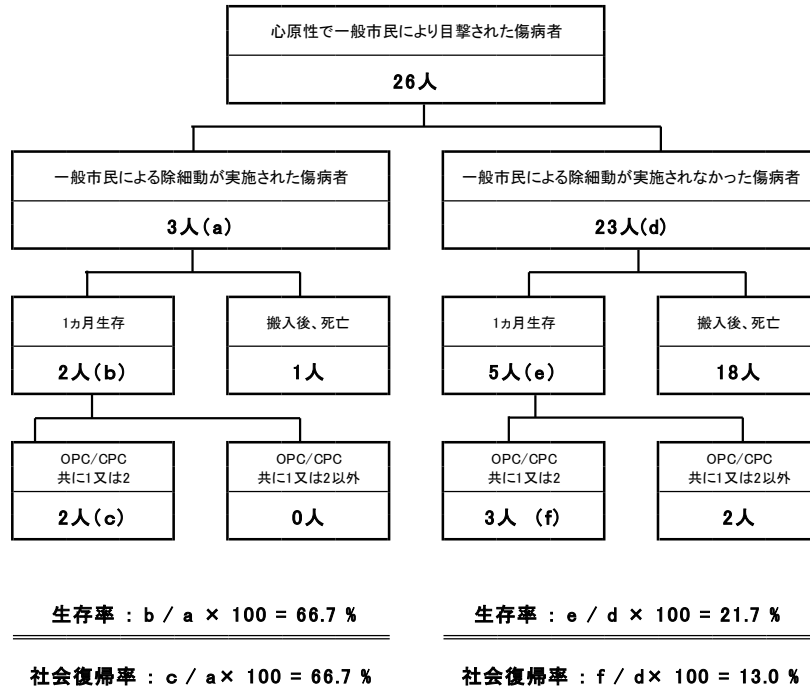


図11 一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者の生存率 (10ヵ年集計)

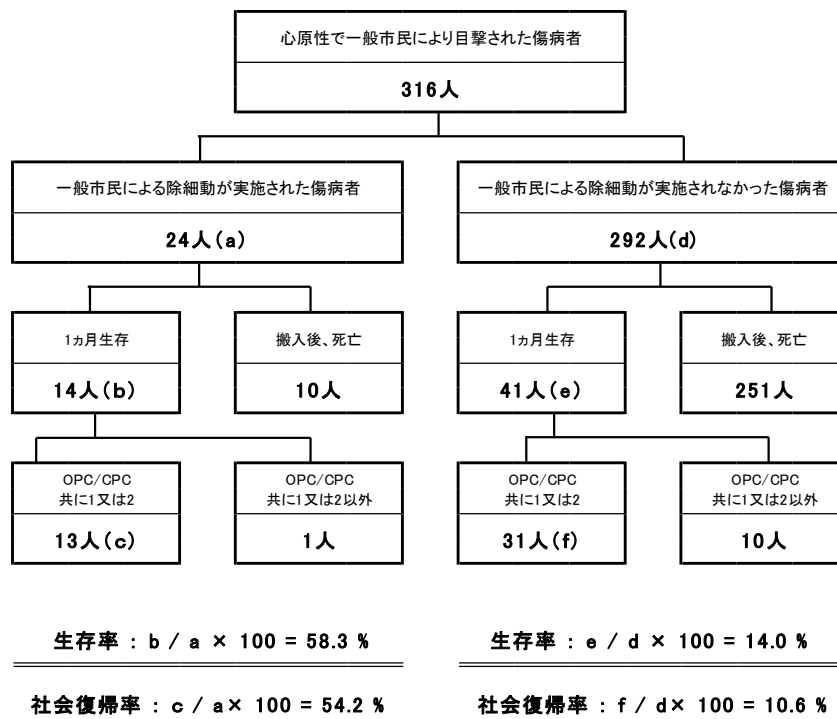


表6 一般市民により目撃され、一般市民による除細動が実施された傷病者の生存率
(10カ年推移)

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心原性で一般市民により目撃された傷病者		41	32	28	28	32	31	34	39	25	26
一般市民により除細動が実施された傷病者		4	0	2	0	2	3	1	5	4	3
1ヵ月生存		2	0	0	0	2	2	0	3	3	2
生存率		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%	0.0%	60.0%	75.0%	66.7%
OPC/CPC共に1又は2		2	0	0	0	2	1	0	3	3	2
社会復帰率		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	33.3%	0.0%	60.0%	75.0%	66.7%
一般市民により除細動が実施されなかった傷病者		37	32	26	28	30	28	33	34	21	23
1ヵ月生存		7	8	4	3	3	2	2	6	1	5
生存率		18.9%	25.0%	15.4%	10.7%	10.0%	7.1%	6.1%	17.6%	4.8%	21.7%
OPC/CPC共に1又は2		4	7	3	3	3	1	2	5	0	3
社会復帰率		10.8%	21.9%	11.5%	10.7%	10.0%	3.6%	6.1%	14.7%	0.0%	13.0%
一般市民により除細動の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者の生存率

心原性で一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者は3人であった。そのうち1ヵ月生存者は2人であり、1人が社会復帰した(図12参照)。10ヵ年集計については図13のとおり。10ヵ年推移については、表7のとおり。

図12 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者の生存率(令和7年)

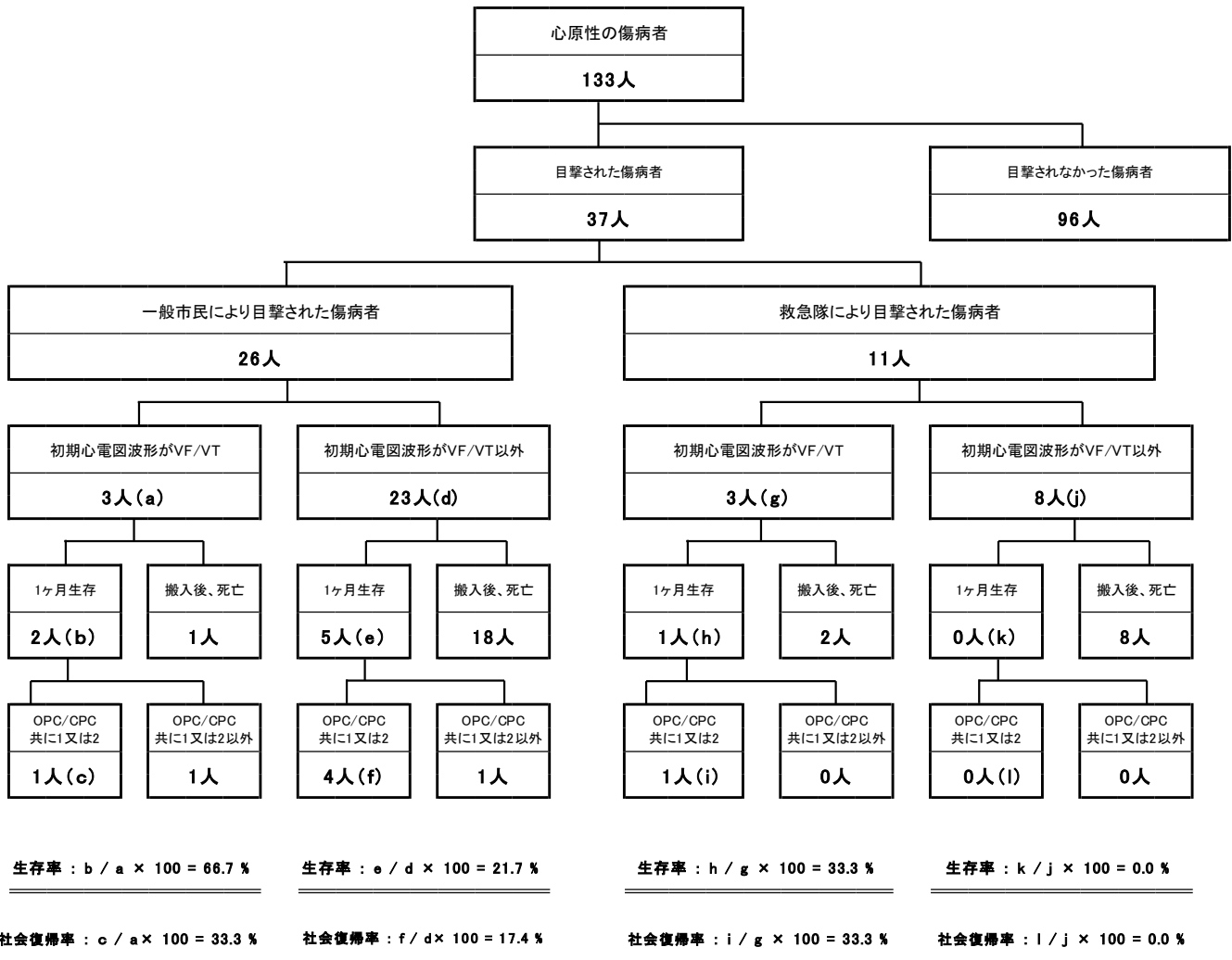


図 13 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者の生存率 (10カ年集計)

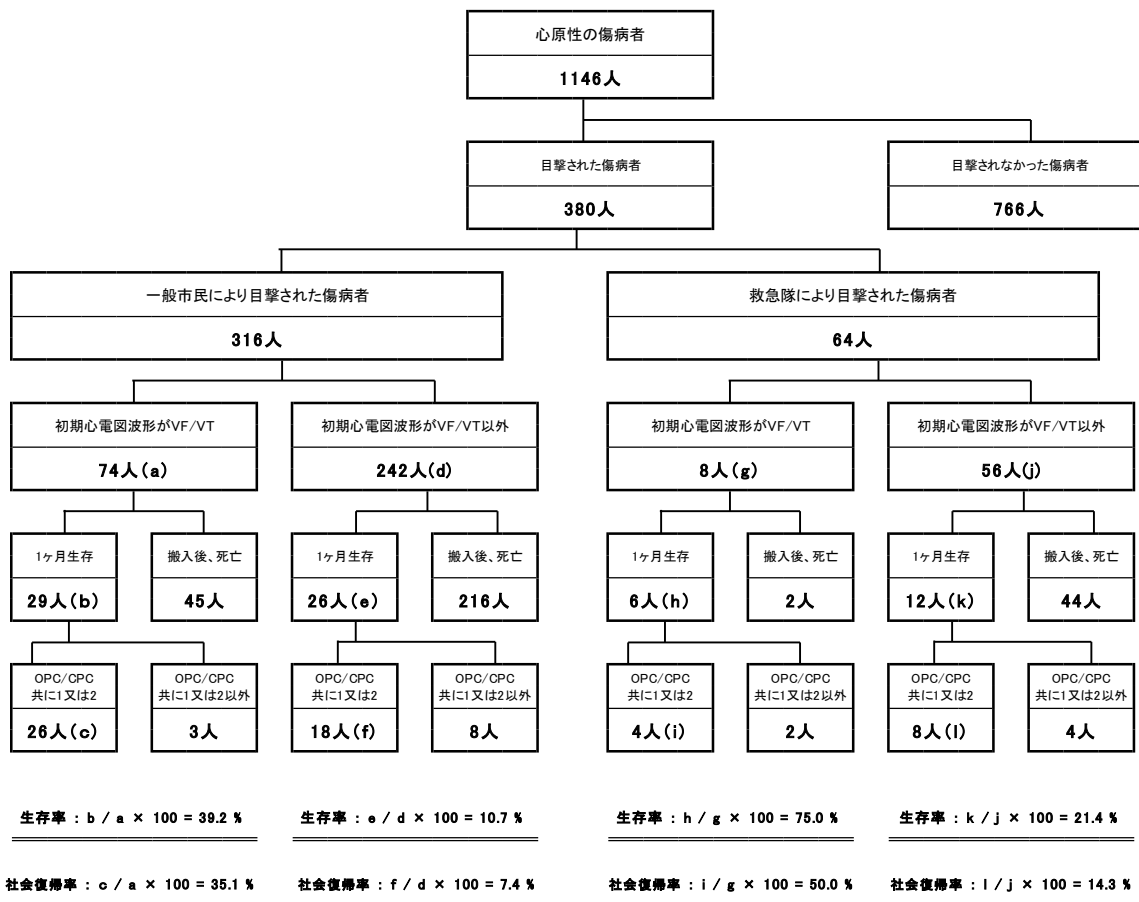


表 7 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者の生存率 (10カ年推移)

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心原性の傷病者		122	123	103	127	102	108	120	112	96	133
目撃された傷病者		50	39	36	35	35	36	38	40	34	37
一般市民により目撃された傷病者		41	32	28	28	32	31	34	39	25	26
初期心電図波形がVF/VT		14	12	8	7	8	5	4	8	5	3
1ヵ月生存		4	5	4	3	2	1	2	4	2	2
生存率		28.6%	41.7%	50.0%	42.9%	25.0%	20.0%	50.0%	50.0%	40.0%	66.7%
OPC/CPC共に1又は2		3	5	3	3	2	1	2	4	2	1
社会復帰率		60.0%	21.4%	41.7%	37.5%	42.9%	25.0%	50.0%	50.0%	40.0%	33.3%
初期心電図波形がVF/VT以外		27	20	20	21	24	26	30	31	20	23
1ヵ月生存		5	3	0	0	3	3	0	5	2	5
生存率		18.5%	15.0%	0.0%	0.0%	12.5%	11.5%	0.0%	16.1%	10.0%	21.7%
OPC/CPC共に1又は2		3	2	0	0	3	1	0	4	1	4
社会復帰率		11.4%	10.0%	0.0%	0.0%	12.5%	3.8%	0.0%	12.9%	5.0%	17.4%
救急隊により目撃された傷病者		9	7	8	7	3	5	4	1	9	11
初期心電図波形がVF/VT		0	2	0	0	0	1	1	0	1	3
1ヵ月生存		0	2	0	0	0	1	1	0	1	1
生存率		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	33.3%
OPC/CPC共に1又は2		0	1	0	0	0	1	1	0	0	1
社会復帰率		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%
初期心電図波形がVF/VT以外		9	5	8	7	3	4	3	1	8	8
1ヵ月生存		2	2	1	3	1	0	1	0	2	0
生存率		22.2%	40.0%	12.5%	42.9%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	25.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		1	2	1	1	1	0	0	0	2	0
社会復帰率		11.1%	40.0%	12.5%	14.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
目撃されなかった傷病者		72	84	67	92	67	72	82	72	62	96

(5) 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、一般市民による心肺蘇生の有無別生存率

心原性で一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者は3人であり、1人が社会復帰した（図14参照）。10ヵ年集計については、図15のとおり。10ヵ年推移については、表8のとおり。

図14 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、一般市民による心肺蘇生の有無別生存率（令和7年）

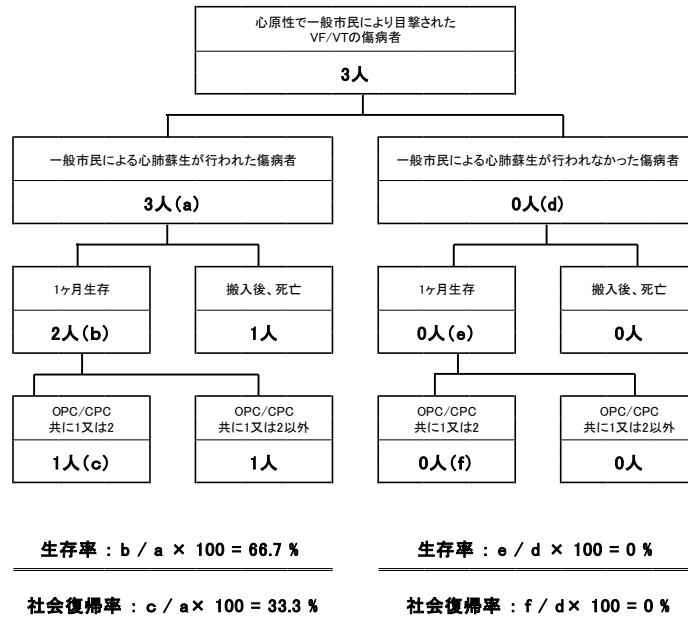


図15 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、一般市民による心肺蘇生の有無別生存率（10ヵ年集計）

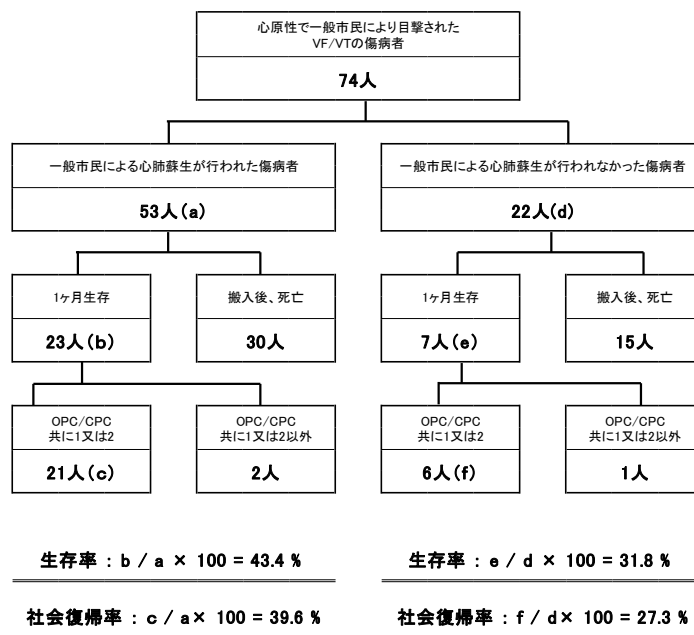


表8 一般市民により目撃され、初期心電図形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、一般市民による心肺蘇生の有無別生存率（10カ年推移）

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心原性で一般市民により目撃されたVF/VTの傷病者		14	12	8	7	8	5	4	8	5	3
一般市民による心肺蘇生が行われた傷病者		11	8	5	6	3	4	2	6	5	3
1か月生存		3	3	2	3	0	1	2	5	2	2
生存率		27.3%	37.5%	40.0%	50.0%	0.0%	25.0%	100.0%	83.3%	40.0%	66.7%
OPC/CPC共に1又は2		2	3	2	3	0	1	2	5	2	1
社会復帰率		18.2%	37.5%	40.0%	50.0%	0.0%	25.0%	100.0%	83.3%	40.0%	33.3%
一般市民による心肺蘇生が行われなかった傷病者		3	4	3	1	5	1	2	3	0	0
1か月生存		1	2	2	0	2	0	0	0	0	0
生存率		33.3%	50.0%	66.7%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		1	2	1	0	2	0	0	0	0	0
社会復帰率		33.3%	50.0%	33.3%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(6) 一般市民により目撃された傷病者における、救急隊による心肺蘇生開始までの時間別生存率

心原性で一般市民により目撃された傷病者のうち、目撃された時点から救急隊による心肺蘇生開始までの時間が5分～10分未満および10分～15分未満であった傷病者において2人が社会復帰した（図16参照）。10ヵ年集計については、図17のとおり。10ヵ年推移については表9のとおり。

図16 一般市民により目撃された傷病者における、救急隊による心肺蘇生開始までの時間別生存率（令和7年）

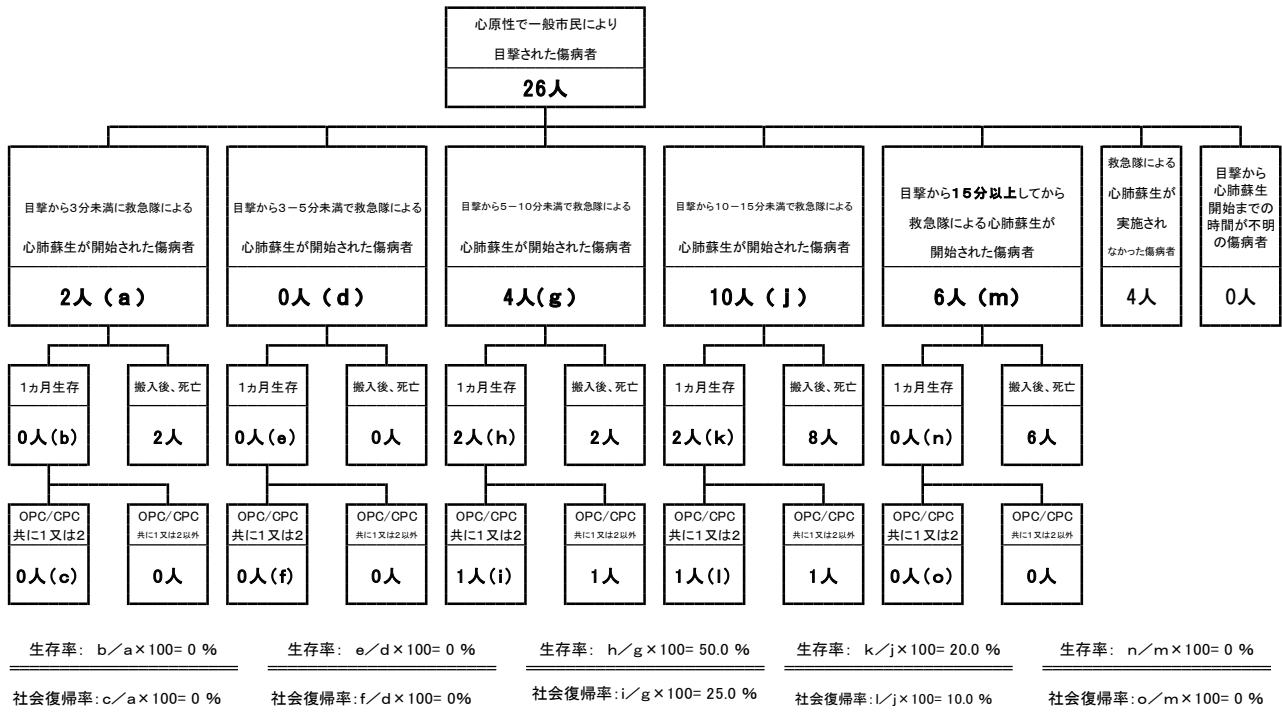


図17 一般市民により目撃された傷病者における、救急隊による心肺蘇生開始までの時間別生存率（10ヵ年集計）

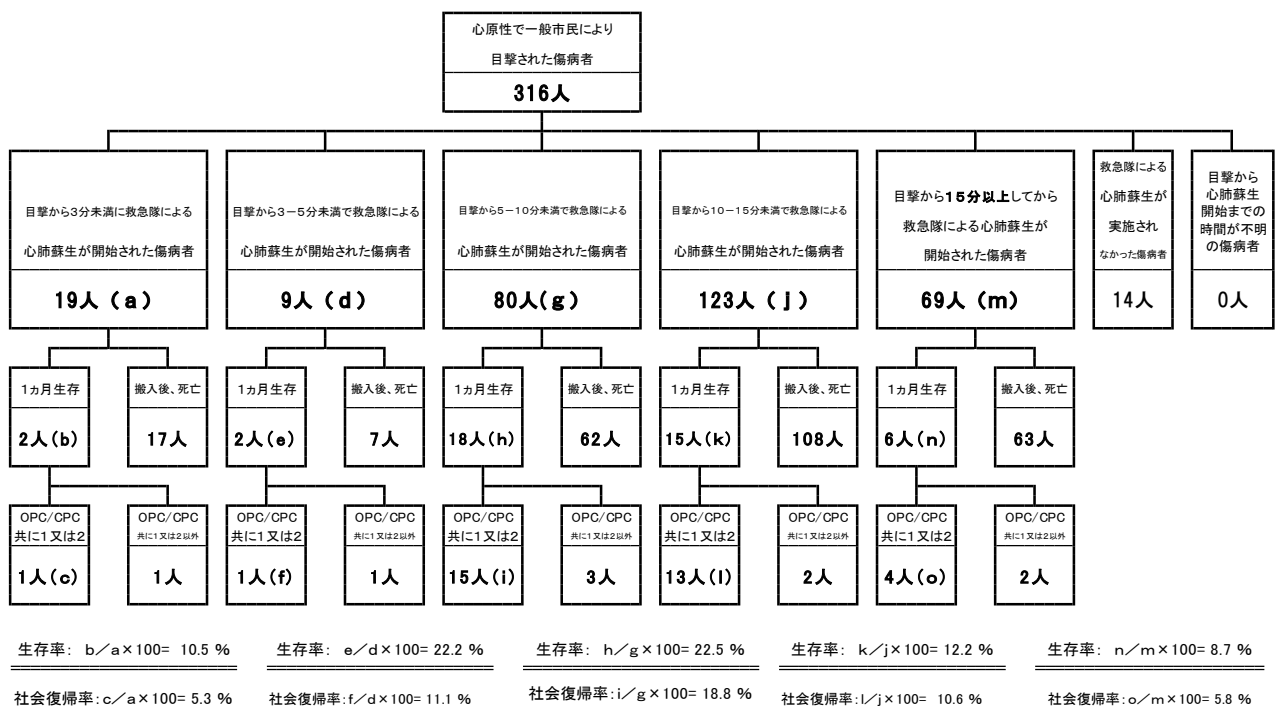


表9 一般市民により目撃された傷病者における、救急隊による心肺蘇生開始までの時間別生存率
(10カ年推移)

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心原性で一般市民により目撃された傷病者		41	32	28	28	32	31	34	39	25	26
目撃された時点から3分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		1	2	0	1	4	2	5	1	1	2
1か月生存		1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
生存率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会復帰率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃された時点から3-5分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		4	0	1	0	2	0	0	1	1	0
1か月生存		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生存率		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会復帰率		25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃された時点から5-10分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		11	10	7	6	7	9	8	11	7	4
1か月生存		2	3	3	1	2	0	1	3	1	2
生存率		18.2%	30.0%	42.9%	16.7%	28.6%	0.0%	12.5%	27.3%	14.3%	50.0%
OPC/CPC共に1又は2		1	3	3	1	2	0	1	2	1	1
社会復帰率		9.1%	30.0%	42.9%	16.7%	28.6%	0.0%	12.5%	18.2%	14.3%	25.0%
目撃された時点から10-15分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		15	11	12	15	14	11	7	18	10	10
1か月生存		0	2	0	2	1	1	0	4	3	2
生存率		0.0%	18.2%	0.0%	13.3%	7.1%	9.1%	0.0%	22.2%	30.0%	20.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	2	0	2	1	1	0	4	2	1
社会復帰率		0.0%	18.2%	0.0%	13.3%	7.1%	9.1%	0.0%	22.2%	20.0%	10.0%
目撃された時点から15分以上経過してから救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		7	9	6	6	3	8	12	6	6	6
1か月生存		1	2	1	0	0	1	1	0	0	0
生存率		14.3%	22.2%	16.7%	0.0%	0.0%	12.5%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	2	0	0	0	1	1	0	0	0
社会復帰率		0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
救急隊による心肺蘇生が実施されなかった傷病者		3	0	0	0	2	1	2	2	0	4

(7)一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、救急隊による心肺蘇生が開始されるまでの時間別生存率

心原性で一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者のうち、目撃された時点から救急隊による心肺蘇生開始までの時間が10分～15分未満であった傷病者において1人が社会復帰した(図18参照)。10ヵ年集計については図19のとおり。10ヵ年推移については表10のとおり。

図18 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、救急隊による心肺蘇生が開始されるまでの時間別生存率(令和7年)

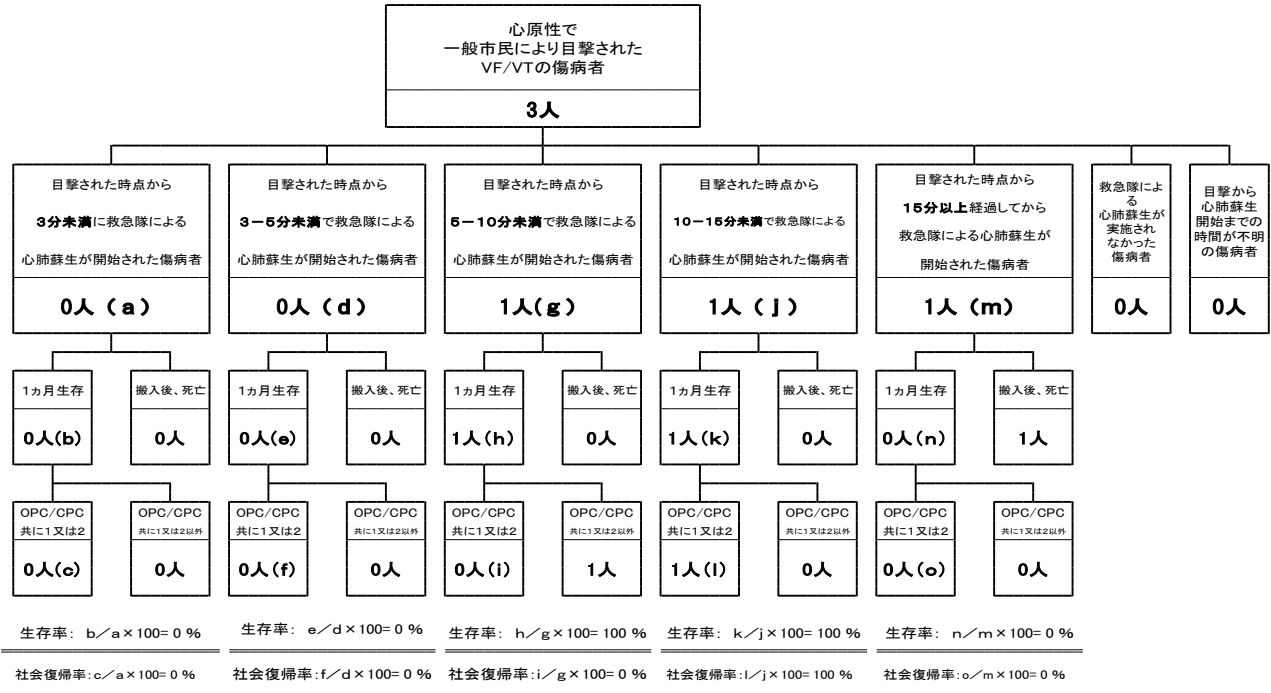


図19 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであった傷病者における、救急隊による心肺蘇生が開始されるまでの時間別生存率(10ヵ年集計)

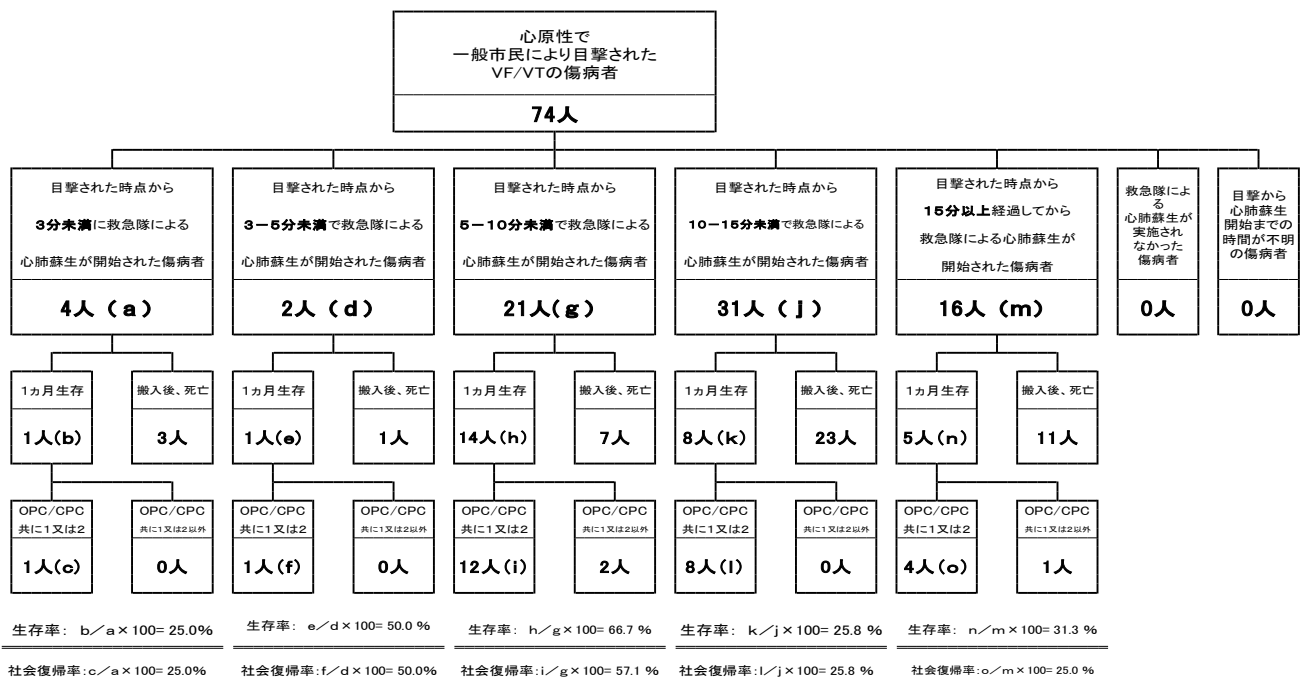


表 10 一般市民により目撃され、初期心電図波形が、VF 又は無脈性 VT であった傷病者における、救急隊による心肺蘇生が開始されるまでの時間別生存率（10 カ年推移）

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心原性で一般市民により目撃されたVF/VTの傷病者		14	12	8	7	8	5	4	8	5	3
目撃された時点から3分未満に救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		1	0	0	0	2	0	1	0	0	0
1か月生存		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生存率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会復帰率		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃された時点から3-5分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1か月生存		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生存率		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会復帰率		50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃された時点から5-10分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		4	3	4	2	2	0	1	2	2	1
1か月生存		2	2	3	1	1	0	1	2	1	1
生存率		50.0%	66.7%	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	100.0%
OPC/CPC共に1又は2		1	2	3	1	1	0	1	2	1	0
社会復帰率		25.0%	66.7%	75.0%	50.0%	50.0%	0.0%	100.0%	100.0%	50.0%	0.0%
目撃された時点から10-15分未満で救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		4	5	3	3	3	3	1	5	3	1
1か月生存		0	1	0	2	1	0	0	2	1	1
生存率		0.0%	20.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	40.0%	33.3%	100.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	1	0	2	1	0	0	2	1	1
社会復帰率		0.0%	20.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	40.0%	33.3%	100.0%
目撃された時点から15分以上経過してから救急隊による心肺蘇生が開始された傷病者		3	4	1	2	1	2	1	1	0	1
1か月生存		0	2	1	0	0	1	1	0	0	0
生存率		0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	2	0	0	0	1	1	0	0	0
社会復帰率		0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
救急隊による心肺蘇生が実施されなかった傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(8) 一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率

心原性で一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者は7人であり、そのうち1ヵ月生存者は3人であり、2人が社会復帰した(図 20 参照)。10ヵ年集計については、図 21 のとおり。10ヵ年推移については、表 11 のとおり。

図 20 一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率 (令和 7 年)

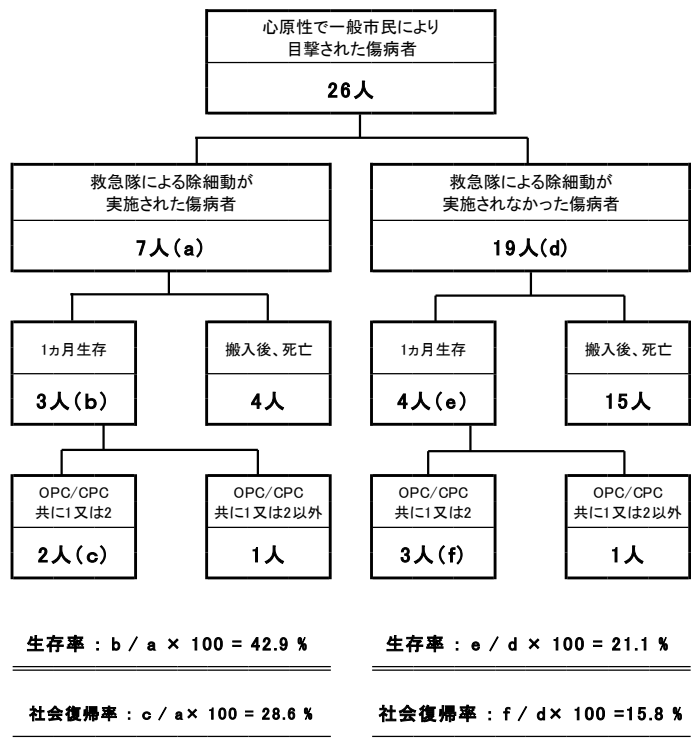


図 21 一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率 (10ヵ年集計)

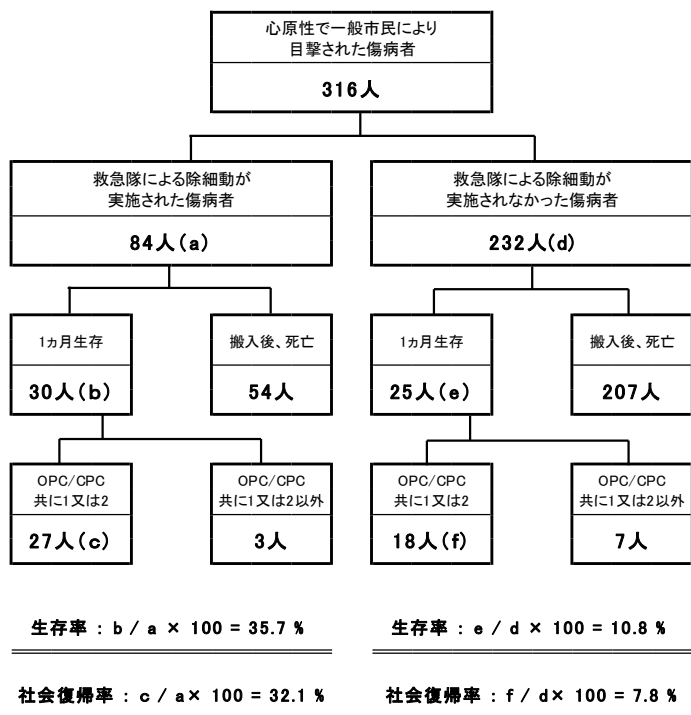


表 11 一般市民により目撃され、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率（10 ヶ年推移）

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心原性で一般市民により目撃された傷病者		41	32	28	28	32	31	34	39	25	26
救急隊による除細動が実施された傷病者		15	13	9	8	8	7	4	8	5	7
1ヵ月生存		4	5	4	3	2	1	2	4	2	3
生存率		26.7%	38.5%	44.4%	37.5%	25.0%	14.3%	50.0%	50.0%	40.0%	42.9%
OPC/CPC共に1又は2		3	5	3	3	2	1	2	4	2	2
社会復帰率		20.0%	38.5%	33.3%	37.5%	25.0%	14.3%	50.0%	50.0%	40.0%	28.6%
救急隊による除細動が実施されなかった傷病者		26	19	19	20	24	24	30	31	20	19
1ヵ月生存		5	3	0	0	3	3	0	5	2	4
生存率		19.2%	15.8%	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	0.0%	16.1%	10.0%	21.1%
OPC/CPC共に1又は2		3	2	0	0	3	1	0	4	2	3
社会復帰率		11.5%	10.5%	0.0%	0.0%	12.5%	4.2%	0.0%	12.9%	10.0%	15.8%
除細動の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(9) 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率

心原性で一般市民により目撃され、初期心電図波形がVFまたは無脈性VTであり、救急隊による除細動が実施された傷病者は3人であった。そのうち1ヵ月生存者は2人であり、1人が社会復帰した(図22参照)。10ヵ年集計については、図23のとおり。10ヵ年推移については、表12のとおり。

図22 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率(令和7年)

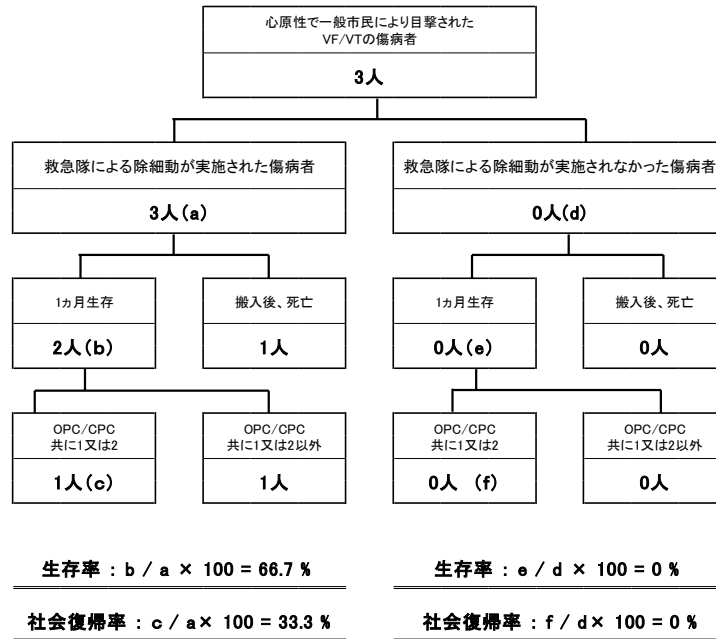


図23 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF又は無脈性VTであり、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率(10ヵ年集計)

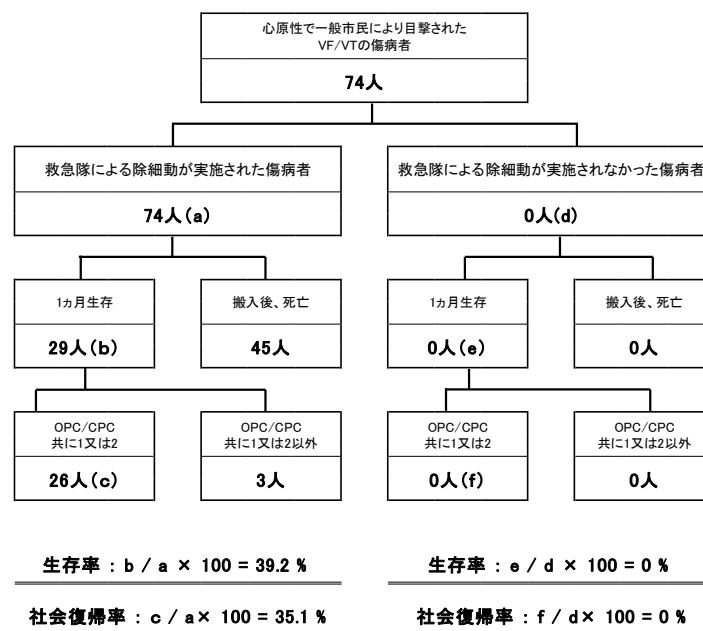


表 12 一般市民により目撃され、初期心電図波形がVF 又は無脈性VT であり、救急隊による除細動が実施された傷病者の生存率（10 カ年推移）

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
心原性で一般市民により目撃されたVF/VTの傷病者		14	12	8	7	8	5	4	8	5	3
救急隊による除細動が実施された傷病者		14	12	8	7	8	5	4	8	5	3
1ヵ月生存		4	5	4	3	2	1	2	4	2	2
生存率		28.6%	41.7%	50.0%	42.9%	25.0%	20.0%	50.0%	50.0%	40.0%	66.7%
OPC/CPC共に1又は2		3	5	3	3	2	1	2	4	2	1
社会復帰率		21.4%	41.7%	37.5%	42.9%	25.0%	20.0%	50.0%	50.0%	40.0%	33.3%
救急隊による除細動が実施されなかった傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1ヵ月生存		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生存率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
OPC/CPC共に1又は2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
社会復帰率		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
除細動の有無が不明の傷病者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5 非心原性の傷病者に関する分析

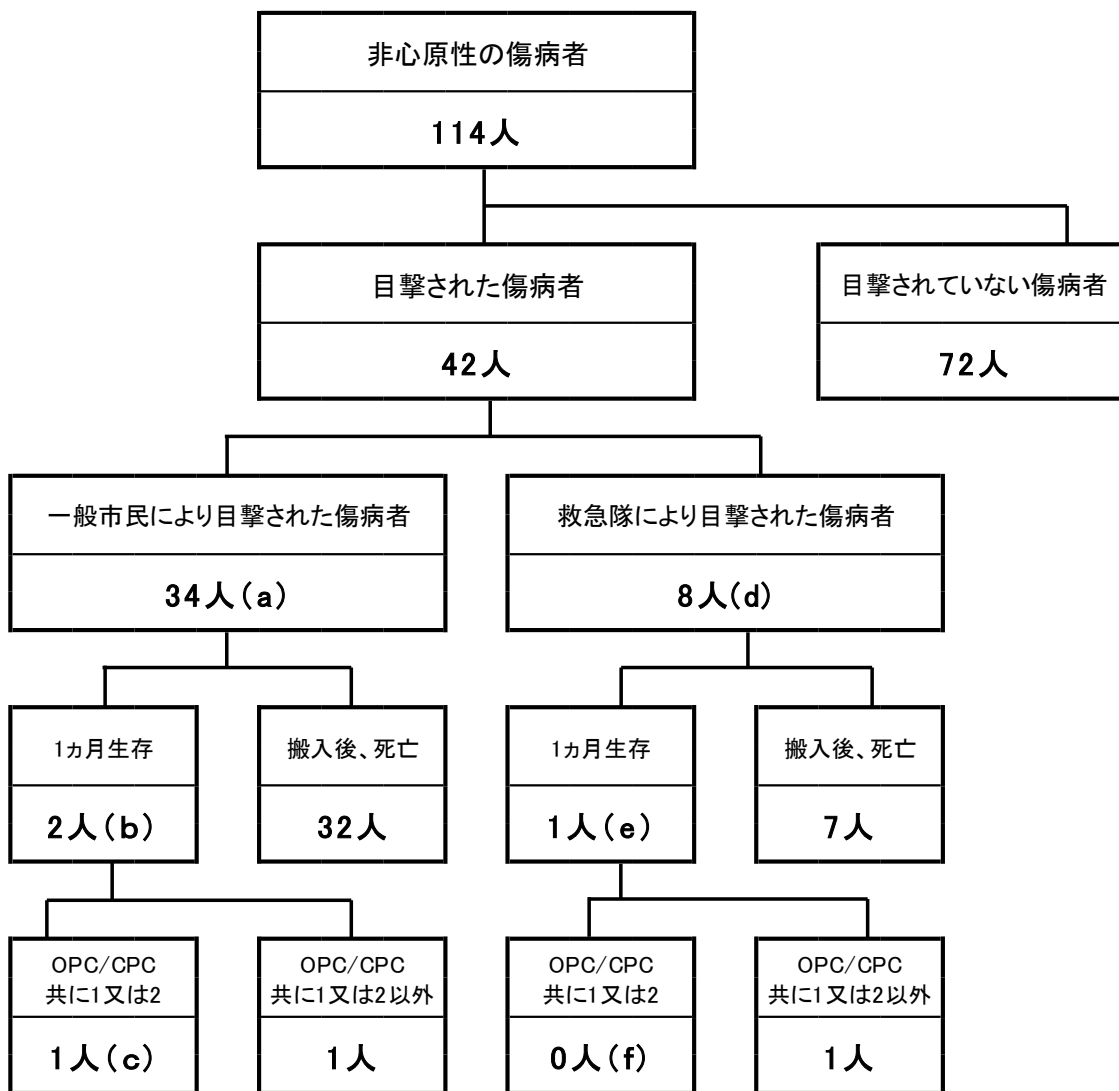
以下、非心原性の傷病者について分析する。

(1) 一般市民により目撃された傷病者の生存率

非心原性で一般市民により目撃された傷病者は34人であり、そのうち1ヵ月生存者は2人であり、1人が社会復帰した（図24参照）。10ヵ年集計については、図25のとおり。10ヵ年推移については表13のとおり。

一般市民により目撃された傷病者の性別・年齢区分の10ヵ年集計については、表14のとおり。

図24 一般市民により目撃された傷病者の生存率（令和7年）



$$\text{生存率} : b / a \times 100 = 5.9 \%$$

$$\text{生存率} : e / d \times 100 = 12.5 \%$$

$$\text{社会復帰率} : c / a \times 100 = 2.9 \%$$

$$\text{社会復帰率} : f / d \times 100 = 0 \%$$

図 25 一般市民により目撃された傷病者の生存率（10 カ年集計）

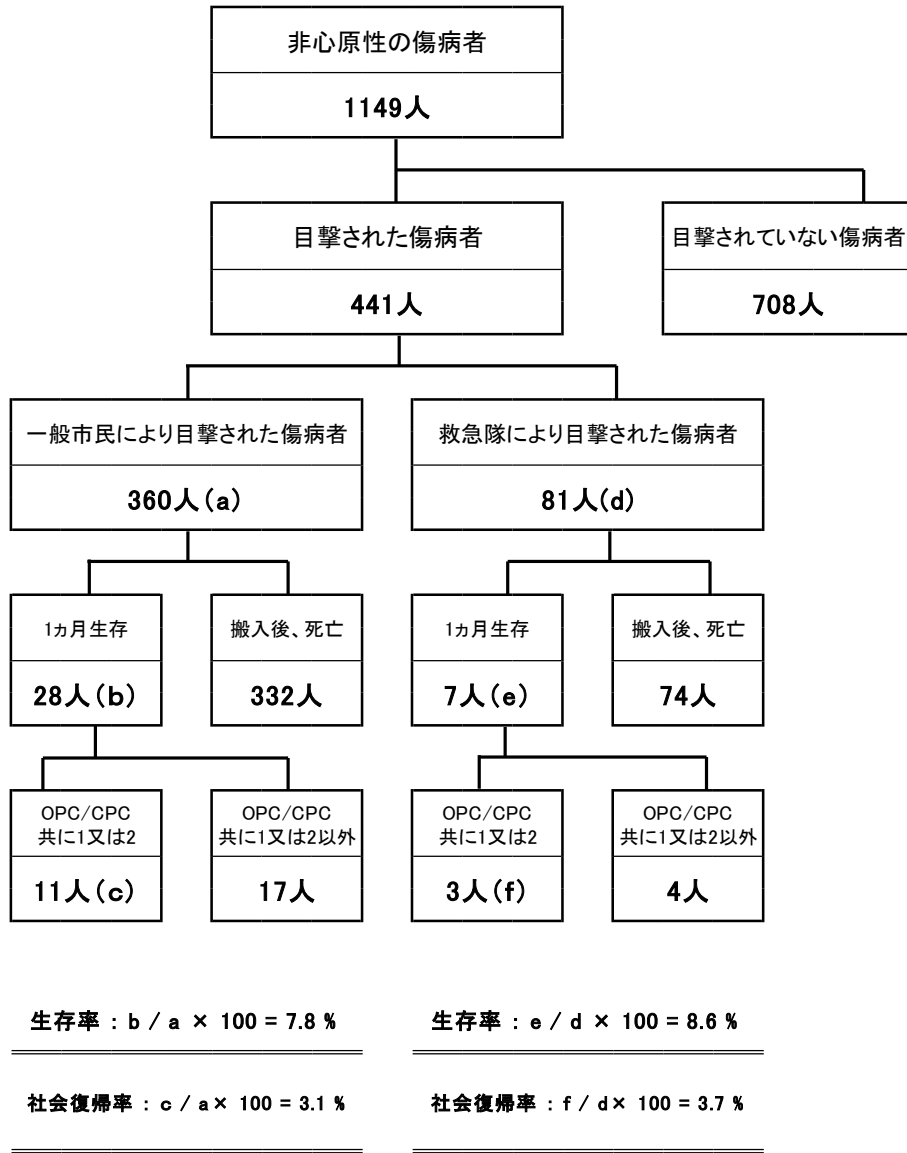


表 13 一般市民により目撃された傷病者の生存率（10 カ年推移）

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
非心原性の傷病者		116	108	126	96	92	124	130	131	112	114
目撃された傷病者		43	42	52	30	32	51	56	51	42	42
一般市民により目撃された傷病者		33	36	46	26	23	42	46	41	33	34
1ヵ月生存		2	2	5	4	1	2	4	5	1	2
生存率		6.1%	5.6%	10.9%	15.4%	4.3%	4.8%	8.7%	12.2%	3.0%	5.9%
OPC/CPC共に1又は2		2	0	2	1	0	0	1	3	1	1
社会復帰率		6.1%	0.0%	4.3%	3.8%	0.0%	0.0%	2.2%	7.3%	3.0%	2.9%
救急隊により目撃された傷病者		10	6	5	4	9	9	10	10	10	8
1ヵ月生存		1	1	0	1	0	3	0	0	0	1
生存率		10.0%	16.7%	0.0%	25.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
OPC/CPC共に1又は2		1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
社会復帰率		10.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
目撃されなかった傷病者		73	66	74	66	60	73	74	80	70	72

表 14 一般市民により目撃された傷病者の性別・年齢区分別生存率(10ヵ年集計)

		10ヵ年集計											
		総数	非心原性で一般市民により目撃された傷病者										
			男性						女性				
			人	1ヵ月生存 生存率	社会復帰		人	1ヵ月生存 生存率	社会復帰				
社会復帰率	社会復帰率	社会復帰率											
年齢区分	0～9	14	2	2	1	50.0%	1	50.0%	0	0	0.0%	0	0.0%
	10～19	10	2	0	0	0.0%	0	0.0%	2	0	0.0%	0	0.0%
	20～29	28	6	3	0	0.0%	0	0.0%	3	1	33.3%	1	33.3%
	30～39	41	11	8	0	0.0%	0	0.0%	3	0	0.0%	0	0.0%
	40～49	61	11	9	2	22.2%	2	22.2%	2	1	50.0%	0	0.0%
	50～59	124	14	9	1	11.1%	0	0.0%	5	1	20.0%	0	0.0%
	60～69	241	31	22	1	4.5%	1	4.5%	9	1	11.1%	0	0.0%
	70～79	462	77	44	4	9.1%	2	4.5%	33	1	3.0%	1	3.0%
	80～89	769	125	65	3	4.6%	1	1.5%	60	3	5.0%	0	0.0%
	90～99	513	75	22	3	13.6%	2	9.1%	53	4	7.5%	0	0.0%
100～119	32	6	1	0	0.0%	0	0.0%	5	1	20.0%	0	0.0%	
不詳	0	0	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0.0%	
合計	2295	360	185	15	8.1%	9	4.9%	175	13	7.4%	2	1.1%	

(2) 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率

非心原性で一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者は 21 人であった。そのうち 1 ヶ月生存者は 2 人で、1 人が社会復帰した(図 26 参照)。10 ヶ年集計については、図 27 のとおり。10 ヶ年推移については、表 15 のとおり。

図 26 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率 (令和 7 年)

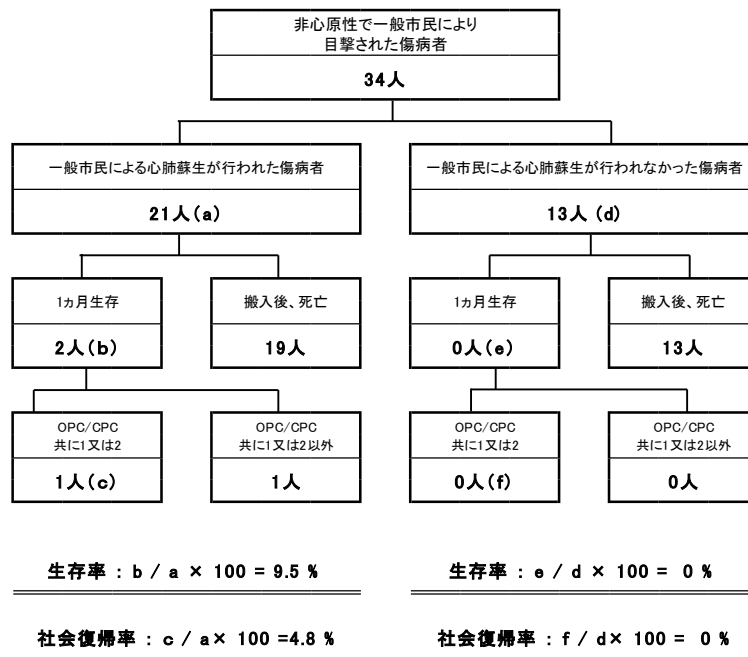


図 27 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率 (10 ヶ年集計)

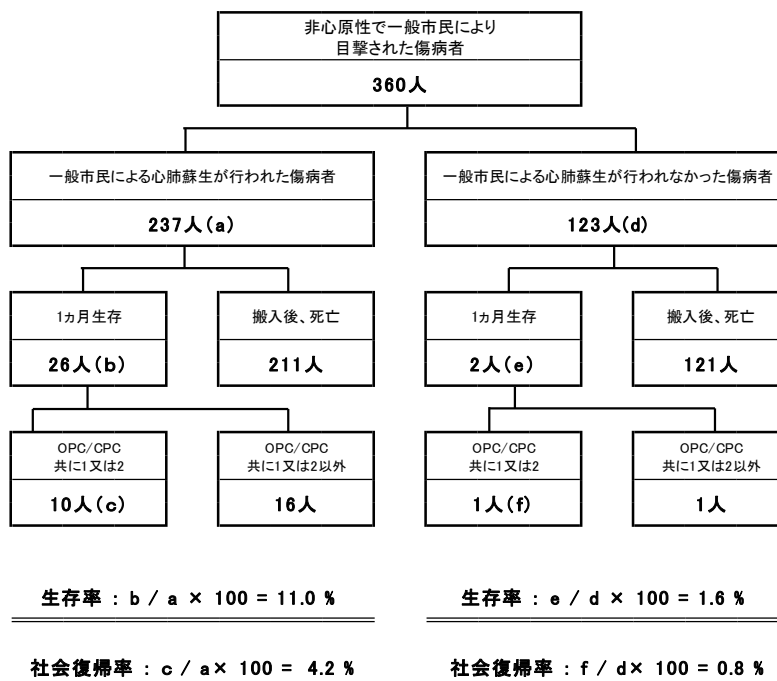


表 15 一般市民により目撃され、一般市民による心肺蘇生が実施された傷病者の生存率
(10 カ年推移)

区分	年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
非心原性で一般市民により目撃された傷病者		33	36	46	26	23	42	46	41	33	34
一般市民による心肺蘇生が行われた傷病者		29	21	33	17	13	27	32	25	19	21
	1ヵ月生存	2	2	5	4	1	2	3	5	0	2
	生存率	6.9%	9.5%	15.2%	23.5%	7.7%	7.4%	9.4%	20.0%	0.0%	9.5%
	OPC/CPC共に1又は2	2	0	2	1	0	0	1	3	0	1
	社会復帰率	6.9%	0.0%	6.1%	5.9%	0.0%	0.0%	3.1%	12.0%	0.0%	4.8%
一般市民による心肺蘇生が行われなかった傷病者		4	15	13	9	10	15	14	16	14	13
	1ヵ月生存	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
	生存率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%
	OPC/CPC共に1又は2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	社会復帰率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%